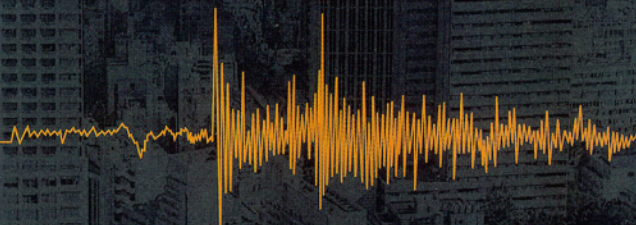




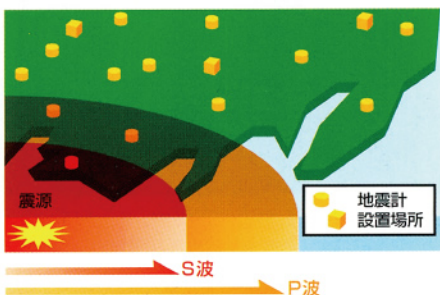
想像してください

「あと数秒で大きな地震がきます」

あなたなら どうしますか



緊急地震速報を活用した 減災システムをご提案します。



緊急地震速報とは

緊急地震速報とは、地震観測網から得られた地震発生情報を即座に伝達し、住民の生命を守る(危機の軽減)ことや社会経済に与える損害を軽減するための情報です。

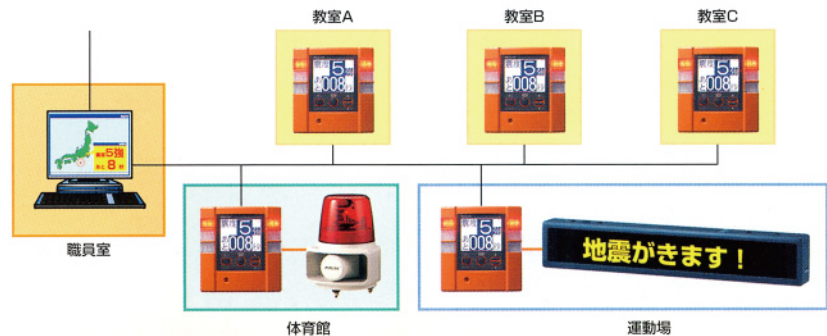
地震波には伝播速度が速い「P波(初期微動)」と、伝播速度は遅いが大きな揺れを起こす振幅の大きい「S波(主要動)」があります。地震による被害の大半は主要動到着以降に引き起こされることから、震源の近くでP波を地震計が検知して、地震の規模や位置を即時的に求め、それを的確に伝達するシステムが構築できれば、多くの場合地震の大きな揺れが到着する前に防災対策を実行することが可能となります。

緊急地震速報表示端末と、他のパトライト製品を組合わせる事で、導入環境や運用用途に適した報知システムの構築が可能になります。

導入環境に合わせて、地震速報表示端末以外の、大型回転灯や大型サイレン、視認性に優れたLED文字表示器等の製品をシステム化させる事ができます。

学校や公共施設で

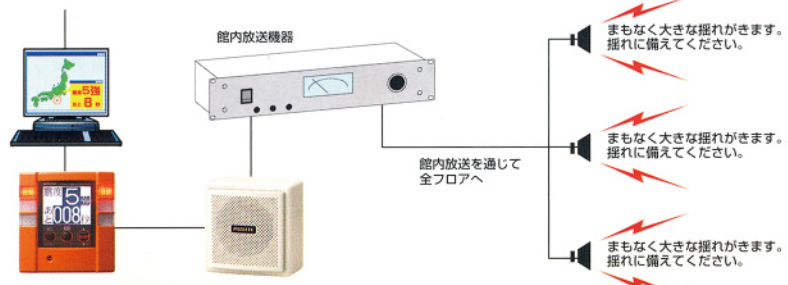
児童・生徒の安全確保や、避難経路確保など



大きな揺れが到達する前に、机の下への一時避難を喚起し身の安全を確保する他、地域での不審者情報及び校内緊急放送の情報表示など多目的にご利用いただけます。

デパートや商業施設で

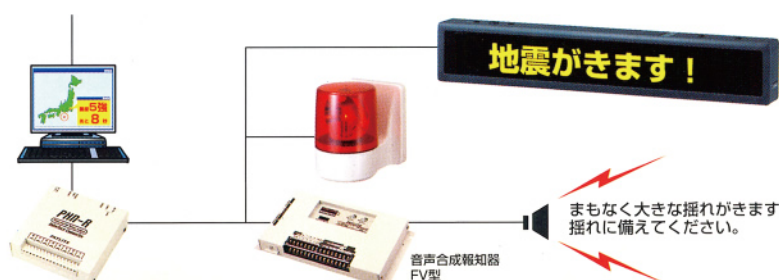
混乱を避ける為の避難誘導や、館内の防災設備との連携など



FTE型に接続された音声報知器を館内放送設備へ接続する事で一斉報知が可能となります。また、商業施設内では迷子の情報表示や、別で配信される天気予報等の情報を有効に活用していただけます。

工場や建築現場で

危険場所からの緊急避難や落下物回避など



地震が発生した際に、高所やクレーン等の大型重機付近で作業している作業員に対して、サイレンや回転灯、LED文字表示器でいち早く報知を行う事で被害を最小限に抑える事が可能となります。

地震速報表示端末 (FTE 型) と 緊急地震速報 を活用した 先進の減災システムをご紹介します。

緊急地震速報と FTE 型のシステム概要図

FTE 型は、緊急地震速報からの情報を元に予想震度と予想到達時間をカウントダウン表示する事が可能な端末です。



たとえば、減災システムの活用で以下のような対策が可能になります。



危険場所からの避難

高所作業現場などで、いち早く緊急避難を行なわせると共に、周囲にも危険が迫っている事を報知します。



安全確保

学校や施設内において、机の下等への避難誘導や避難経路の確保など、お子様やご老人の安全確保の為に報知します。



予防処置

病院施設内での高度医療機器の緊急停止や手術中患者の安全確保、薬品の転倒防止などの予防処置の為に報知します。



避難誘導

公共施設や大型商業施設などで、混乱を防ぐ為の事前処置として危険場所（ガラスケースやエスカレーター）から遠ざけ、避難誘導する為の報知を行います。



二次災害防止

調理場や火気・危険物を扱う場所において、事前に火を止め、火災や爆発の二次災害を予防し、熱い物や化学薬品等から離れる為の報知を行います。



落下物回避

倉庫や工場などにおいて、落下物等の危険から身を守る為に事前に報知し、従業員の身の安全確保と周囲への報知を行います。